

「研究・産学地域連携ユニット」は、本学研究者が国際的に高い水準で研究ができるように各種研究支援を実施するほか、研究成果等の情報発信、地域産業界等からの技術相談対応、地域課題と本学研究シーズとのマッチングによる研究成果の社会実装、県内企業との研究開発機会の拡大と研究成果の可視化(試作・プロトタイプ)による地域産業の研究開発力の強化を推進するとともに、自治体および金融機関等との連携プロジェクトの企画・立案を行っています。

また研究成果の社会実装に向けた外部資金等の獲得支援、事業化が見込まれるシーズに対する事業化支援活動(スタートアップ創出支援事業)および鹿児島大学認定ベンチャー支援事業等も行っています。

01 研究を国際的に高い水準へ

研究者支援

- 外部資金公募情報収集と申請支援(科研費申請アドバイザー制度)
- 分野横断型研究プロジェクトの創出支援
- 文科省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」事業
- スキルアップ支援(英語論文書き方セミナー等)
- 部局支援担当制度による研究支援窓口の見える化
- 研究・社会貢献IR (Institutional Research)

02 地域ニーズを「発掘する」「集める」「解決する」

相談対応

- 南九州・南西諸島の地域課題や政策情報の一元的収集
- 「認定コーディネーター制度」を運用し、地域に眠る潜在的課題を探索・発掘・収集
- 研究・教育・社会貢献活動といった大学の「知」に対する産業界や自治体からの相談への対応「南九州・南西諸島ラウンドテーブル」「鹿児島大学タウンミーティング」

03 地域ニーズと研究シーズとを「繋げる」/ プロジェクトを「育てる」

マッチング

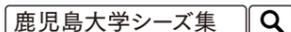
- 企業ニーズと研究シーズのマッチング
- 少人数制マッチングイベント「かごしまTechミーティング」の実施



04 研究シーズを「発掘する」「育てる」「発信する」

シーズ展開事業

- 大学研究シーズの収集と「研究シーズ集」の公開・発行
- 展示会、メールマガジン等による研究シーズ情報の全国への発信



TOPICS トピックス 1 産学官の連携協定の取組 「地域課題の解決や新たな価値の創出に資する人財育成及び事業創出」 2023年12月に締結した与論町、清水建設株式会社(以下、清水建設)との三者連携協定に基づき、以下の取組を実施した。

1. 与論島人づくり構想(通称:「与論島アカデミー構想」)の策定及び発表 「与論島アカデミー構想」とは、「人からも自然からも選ばれる幸せ溢れる持続可能な与論島」の実現に向けて、0歳から100歳以上の町民も積極的に地域づくりに参加して、人づくりと地域づくりを両輪で回すことにより、地域課題の解決や新たな価値の創出に資する人財の育成を図るという構想で、上記三者で策定したものである。

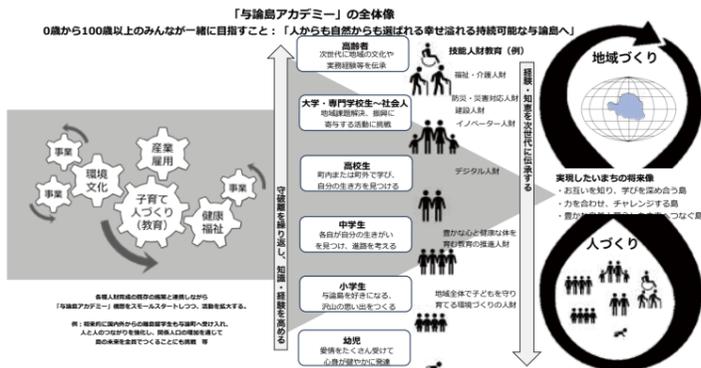


図1 与論島アカデミー構想の全体像



『ワイたんDAY』パネルディスカッションの様子

2025年2月に開催された「よろん産業まつり『ワイたんDAY!』」では、本構想の発表後、町長、清水建設社長、鹿児島大学副学長によるパネルディスカッションが行われ、構想の実現に向けた活発な討議が行われた。

2. 「与論島アカデミー構想」に基づくその他具体的な取組

- ① 津波避難訓練を通じた防災対策: ワークショップ、避難訓練
2025年1月に島内での地震による津波発生時の避難をスムーズにかつ安全に行うため、住民参加により、本学地域防災教育研究センターの柿沼太郎准教授による津波発生メカニズム等についての講話やグループ討議などのワークショップを開催した。
また、2月にはこれに基づいた自動車による高台への避難訓練を実施し、検証を行った。



ワークショップの様子

避難訓練の様子

- ② 焼却灰の資源化の調査・研究

資源循環の地域づくりに向け、町内で発生した一般廃棄物の焼却灰をセメント等とともに混練し、固形化により再利用する調査・研究に取り組んだ。



利用予定の焼却灰(屋内埋立処分場)と固形化試験体

05 プロジェクトを「育てる」

中小企業の研究開発力を強化「オープン実証ラボ」

- 研究成果の地域での可視化と試作機会の確保: 「オープン実証ラボ・実証フィールド」の設置
- 地域課題解決型研究「実証ラボ・実証フィールドプロジェクト」の実施

06 地域の産学官交流の基盤を「創る」

産学官交流事業

- 地域関連団体等と連携した一般向けセミナー・シンポジウムの開催
- 認定コーディネーター会議の開催: 本学が認定した連携金融機関による企業ニーズの橋渡しや研究シーズの発信
- 鹿児島大学サポーター会議の開催: 本学が認定した地域おこし協力隊等による地域課題の発掘・収集

07 研究成果を社会に「実装する」

大学発ベンチャー認定及び支援制度

- ビジネスプラン構築の支援等を通じた本学の研究成果の社会実装支援
- 鹿児島大学の教員・学生による起業支援
- KADAI STARTER'S PITCHの開催
- ベンチャービジネスラボラトリーによる事業化支援
- 大学発ベンチャーの認定(2025年4月末現在、13社) 下図のとおり

TOPICS トピックス 3 第1回 鹿児島大学奄美群島拠点シンポジウム 奄美群島の「地域活性化の中核的拠点」をめざして

2024年10月11-12日の両日、奄美市アマホームPLAZAにて奄美群島内の自治体や企業等と連携して実施してきた本学の研究、地域課題解決及び教育・人財育成の取組を紹介し、奄美群島の地域活性化について討議する「第1回 鹿児島大学奄美群島拠点シンポジウム」を開催した。

2日間のシンポジウムでは、「奄美群島における学術研究の推進と産学官金連携の推進」と「未来の奄美群島を担う人財育成・教育」のテーマについて、講演とパネルディスカッションが行われ、対面及びオンラインでのべ300人以上の参加があった。



TOPICS トピックス 4 「学術コンサルティング制度」の活用を! 必要な技術指導・助言、学術・技術調査や機器分析等を提供します。

企業・自治体等の皆さまへ

支援メニューとして

- ① 共同研究事前検討
 - ② 専門技術相談
 - ③ 意見交換/情報提供
 - ④ 機器分析指導
 - ⑤ 技術教育
 - ⑥ 新規事業プランニング支援(コンセプト創出)
 - ⑦ 先端技術・学術知見・動向調査
- などで2024年度の実績は15件です。
本制度をご利用されたい方は、本センターまでお問合せください。

「学術コンサルティング制度」とは、企業等からの依頼を受け、本学の教職員が教育研究・技術上の専門的知識に基づき技術指導・助言、学術・技術調査や機器分析等を行う制度です。

TOPICS トピックス 2 学生の視点で 新たな商品を提案する取組

市電グッズ 【鹿児島大学 × 鹿児島市交通局コラボ・トートバッグ】の商品化

2023年度、鹿児島市交通局から「新しい鹿児島市交通局のPRグッズ」の商品提案の依頼を受け、共通教育科目「価値創造の場」を経て、商品案をとりまとめ提案した。

2024年度、トートバッグを提案した学生有志と南九州・南西諸島域イノベーションセンター及び交通局が議論を重ね、再生ペットボトルの素材を使った三種類の「鹿児島大学 × 鹿児島市交通局コラボ・トートバッグ」を完成させた。

商品は2025年4月から交通局や鹿児島大学生協等で販売中。



三種類のトートバッグ

完成記者会見